



小学部5・6年生 社会体験学習

11月24日（金）に、小学部5・6年生の社会体験学習が行われました。今年度は静岡県の下田海中水族館様に御協力いただき、活動を行いました。当日は8名の児童（教室で5名、病棟で3名）が参加することができました。

午前中は、下田海中水族館内の海の生き物の見学を行いました。コツメカワウソの餌を食べる様子を見たり、フンボルトペンギンの泳いでいる様子を見たり、クイズを織り交ぜながら楽しく学習することができました。また、イルカショーも見学し、見学後にはショーを行った飼育員さんに「飼育員さんになったきっかけは何ですか?」「イルカショーに出るためにどれくらい練習が必要ですか?」など質問をすることができました。絶滅危惧種に指定されている生き物についての話もしていただき、命の大切さについて考える機会となりました。



午後は、下田の海で拾われた貝やシーグラス、水族館で保管していたサンゴの骨格を使用してシーキャンドル作りを行いました。それぞれ違う貝やシーグラスをみんな工夫しながら集中して作る様子が見られました。出来上がった時には「これは世界に一つしかないキャンドルができた!」と素敵な発言もありました。是非、御自宅に帰った時にキャンドルに火を灯し、楽しかった記憶を思い起こしてもらえたらと思います。



まだまだコロナ禍の影響は強く、入院中に外に出ることは難しい状況ですが、その中でも見学や体験を楽しむことができました。保護者の皆様、御協力くださった下田海中水族館の皆様、本当にありがとうございました。

🎉🎉🎉🎉🎉 復学支援は けやきに転入したときから始まります 🎉🎉🎉🎉🎉

復学支援とは、①児童生徒が地元の学校に安心して帰ることができる、②保護者様が安心して復学の日を迎えられる、③地元校の先生方に児童生徒を迎える準備をしてもらうようにすることで、その取組は転入と同時に始まります。本校に入るために学籍を異動しますが、地元校の座席、掲示物、靴箱等はそのままにさせていただき、入院している児童生徒も常にクラスの一員であることを担任の先生やお友達に意識していただくことがスムーズな復学支援につながるからです。入院中は、けやきの担任と地元校の先生が連絡を取り合い、地元校の様子を聴いたり、けやきでの様子を伝えたりしています。小学校入学時からけやきに在籍している児童や年度を越えて入院している児童生徒は、退院後には新しい環境に戻るため、地元校のお友だちとリモートで繋いで交流したり、新しい担任の先生やクラスのお友達のことが分かるような工夫をお願いしたりしています。このように地元校と繋がることで、児童生徒も御家族も安心感が得られます。また、新しい学年で使用する物（小3ではリコーダーや習字の道具、小5では裁縫セット等）も、みなさんと同じ物が購入できるようにお願いしています。

退院が近づいたら「復学支援チェックシート」を活用して児童生徒と保護者様の不安や要望を整理します。主治医には「学校生活上の配慮事項」を作成していただき、これらの資料を地元校にお送りして、御対応をお願いしています。多くの配慮を要する場合は復学支援会議を実施しています。会議では、主治医から現状や治療予定の説明と地元校からの質問に答えていただき、配慮事項を伝えることで、地元校では適切な環境調整ができます。昨年度は40件の会議を実施しました。

退院後でも御連絡いただければ、お話をお伺いして一緒に考えていきます。皆様が安心して地元校に戻り、充実した学校生活を送れるようにお手伝いしていきますので、小さなことでも御心配なことがありましたら、けやきの担任やコーディネーターに御相談ください。

🎄🎅 12月の行事予定 🎊🎊🎊🎊🎊

| 日 | 曜日 | 行事予定 |
|----|----|------------------|
| 6 | 水 | 小3社会科見学 |
| 8 | 金 | 12:15下校 |
| 13 | 水 | 授業参観 14:05下校 懇談会 |
| 20 | 水 | 金曜日課 |
| 21 | 木 | 12:15下校 |
| 22 | 金 | 終業式 12:15下校 |

※1月9日（火）始業式 12:15下校